

表題：第1回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会 概要

- 1 日 時 平成28年6月30日（木曜日） 18時30分から20時20分
- 2 場 所 町民会館 ホール
- 3 出席者 （委員）
石川かず子、香取幸子、小松揚明、小山裕紀子、杉本直也、田中幸男、
中沢清、豆田和子
（協働施策推進アドバイザー）
辻山幸宣（財団法人自治総合研究所所長）
（事務局）
横澤和也（住民部長）、古川実（住民部地域課長）、
水村探太郎（住民部地域課地域係長）、吉岡佐知代（住民部地域課地域係主任）
堂垣祐介（住民部地域課地域係主任）
- 4 欠席者 中居樹里
- 5 議 題
 - 1 瑞穂町協働のまちづくり推進委員会について
 - 2 瑞穂町協働の経緯について
 - 3 正副委員長の互選
 - 4 協働事業提案書の記載内容について
 - 5 その他
- 6 配付資料
 - 1 次第
 - 2 28年度スケジュール（案）
 - 3 「瑞穂町協働宣言」の実現に向けた提言書
 - 4 「瑞穂町協働フォーラム2016」資料一式
 - 5 「瑞穂町協働フォーラム2016」会議録
 - 6 協働事業提案書
 - 7 「協働」ってなんだろう？
 - 8 瑞穂町協働のまちづくり推進委員名簿
- 7 開会
地域課地域係長
- 8 委嘱状交付
住民部長から各委員及び協働施策推進アドバイザーの辻山幸宣氏に委嘱状が交付されました。
石川かず子氏、香取幸子氏、小松揚明氏、小山裕紀子氏、杉本直也氏、
田中幸男氏、中沢清氏、豆田和子氏

9 議題1 瑞穂町協働のまちづくり推進委員会について

事務局から、瑞穂町協働のまちづくり推進委員会の年間スケジュールを説明しました。基本的には3ヶ月に1回委員会を開催し、町の協働の在り方や協働事業の内容について協議します。また、昨年度作成した協働事業提案書について検討し、より書きやすい提案書にするため、委員からの意見を取り入れていきます。

議題2 瑞穂町協働の経緯について

平成25年度に設置した「瑞穂町の協働を考える会議」では計22回の会議を重ね、今後、町の様々な形での協働を進めていく上で、ひとつの道しるべとする「瑞穂町協働宣言」を作成、及び協働宣言の実現に関することについて議論し、協働の基盤を築きました。

そして、平成27年度からは「瑞穂町協働のまちづくり推進委員会」となり、協働を実際に行うための仕組み作りや周知啓発活動について協議し、平成28年3月には委員会と町との協働事業として「瑞穂町協働フォーラム2016」を開催しました。また、協働事業を行う際に記入する「協働事業提案書」を作成し、実際に協働したい団体が動き出せるように仕組みを整備しました。

議題3 正副委員長の互選

委員長に香取幸子氏、副委員長に中沢清氏に就任いただきました。

議題4 協働事業提案書の記載内容について

(※協働事業提案書とは、町との協働事業を行いたいと考えている方がどのような事業をして、町が協力できることはなにか、お互いにどのようなメリットがあるか等を記入するシートです。地域課窓口に来庁していただき、職員と一緒に作成することを想定しており、シートを使用して担当部署へ説明に回ります。)

- ・事前に協働事業提案書を委員に記載していただき、その資料をもとに会議を行い、実際に書いてみた感想や改善したほうが良い点等、様々なご意見をいただきました。
- ・頭の中で思い描いていることと書いていることでギャップが出てしまう可能性があります、本当にやりたいことを記入する難しさがある。
- ・シートにおいて、1-1、1-2、1-3と3-1、3-2、3-3が重なり、どのように書いて良いか迷ってしまった。問題の状況や現状というのは、書きづらかった。
- ・シートにおいて、3-1事業発案の動機の欄は、もう少し大きくした方が良い。また、4-2協働を希望する担当部署名は、どの部署がどのような業務を担当しているかを把握していないため、住民にはわかりづらい。例えば、各課の業務内容が一覧表になっていると書きやすい。
- ・最初、シートの役割が行政に対する提案なのか、しっかりとした計画などを書く企

画書なのかがわからなかったが、提案書ということであれば書きやすいものだと感じた。逆に企画書としてしまうと、難しくなり、書こうという気になれなくなってしまふのではないか。

- ・実際に書くことを考えると、シートの中に起承転結の流れがあると良い。例えば、
順番として、次のようになるとわかりやすい。
事業を始めようとした動機→現状→その現状をどうしていきたいか→その為には何をすれば良いか→最終的にはどのようにしたいか

議題5 その他

事務局から今後のスケジュールについて説明しました。